

ハエ対策について

暖かくなる4月から暑さが続く10月まで、吸血昆虫が活発になります。
今年も吸血昆虫対策を行い、牛をストレスや疾病から守りましょう。

サシバエの生態



約 3～8 mm

- ・発生場所は糞便、堆肥など
- ・朝夕に吸血（雌雄とも）
- ・卵から成虫まで平均20日
- ・羽化後1週目から産卵開始
→産卵数は1回に100～200個、生涯に約800個

※サシバエ以外にアブなども吸血

写真・参考：住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社

幼虫対策

① こまめな除糞と乾燥で発生源を除去

- ・糞尿や牛舎隅など湿った場所に産卵するため、こまめな除糞で産卵場所を除去する
- ・適切な堆肥化（発酵熱50℃以上）で幼虫を殺虫する

② 成虫になる前に殺虫剤で駆除

- ・農場内の約8割は卵～さなぎの状態で存在している
- ・幼虫対策として薬剤散布を行い、全体数を減少させる

【IGR製剤】

作用：昆虫成長抑制剤（幼虫の脱皮や蛹からの羽化を抑制）

方法：発生源（糞尿集積箇所や堆肥、牛床隅など）へ定期的に散布

成虫対策

① 防虫ネットの設置

- ・牛舎出入り口に隙間の無いよう設置する
- ・網目2mm程度のものが効果的
- ・定期的な修繕および張り替えを行う

② イヤータグの活用

- ・牛同士の接触で薬剤成分が体表に付着・分散し、外部寄生虫を駆除する
- ・放牧前や1シーズンごとに新しいものに付け替える

飛騨家畜保健衛生所（飛騨総合庁舎内）

〒506-8688 高山市上岡本町7-468

TEL:0577-33-1111（内線403） FAX:0577-32-9019

E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp※閉庁時には案内メッセージに従って対応をお願いします。

飛騨家畜保健衛生所
家畜衛生情報は
こちら⇒

